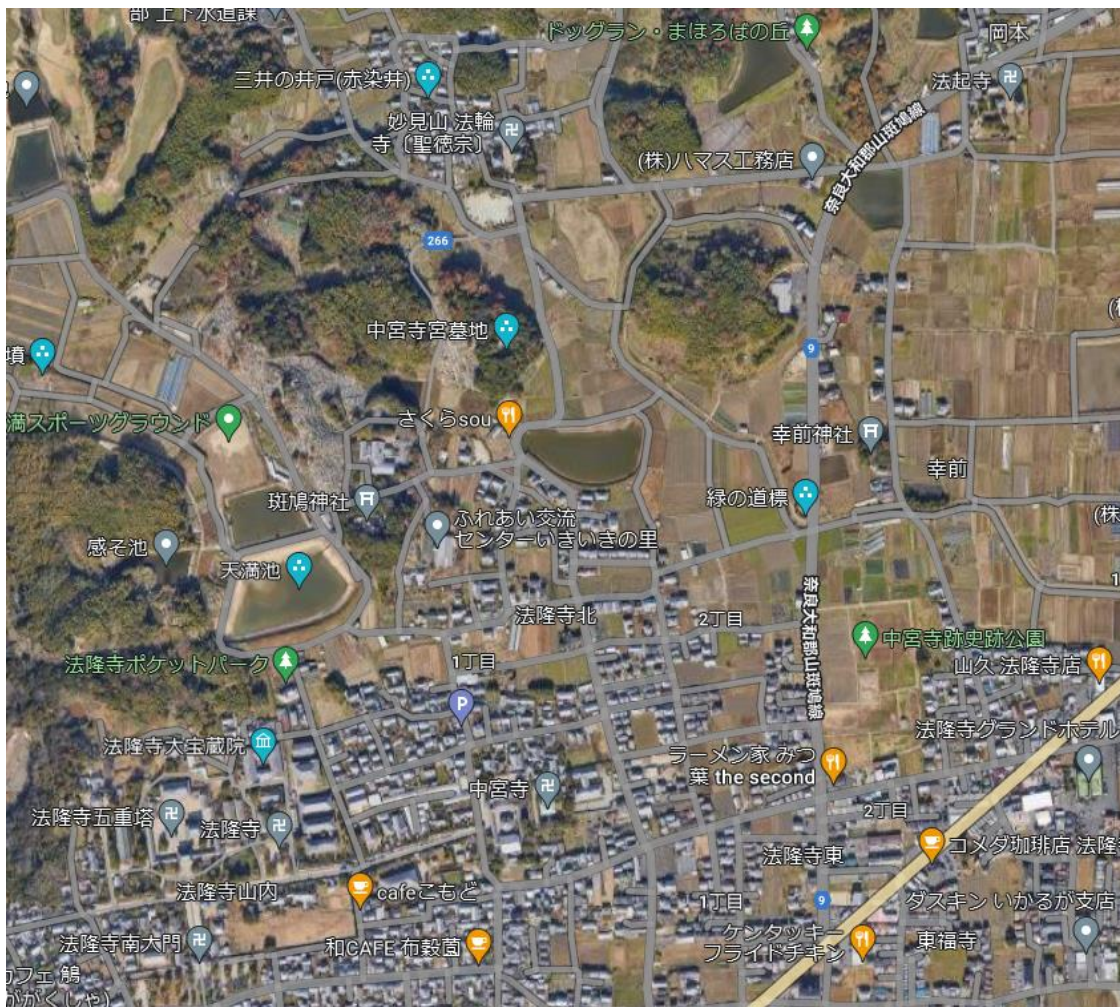


写真アルバムから

シリーズC 寺社華風月 (白黒)

C10 法起寺・法隆寺 1975

森隆一



法起寺

法隆寺

(Google Map)

C10. 法起寺・法隆寺 1975

京都のめばしい所はほぼ廻ったので、奈良に行くことを考えた。奈良市内の有名寺院や法隆寺などは以前に訪れているのと、簡単に行けるので、奈良市外の寺院を探し、法隆寺と法起寺に行くことにした。

堀辰雄が法起寺の三重塔を誉めている文章を教科書で見た記憶がある。‘堀辰雄 法起寺’で検索をしても見つからないので、記憶違いかもしれない。唐招提寺のエンタシスの柱も同時に読んだ気がしている。

ともかく、法起寺の三重塔を撮り、ついでに法隆寺にも回る予定で出かけた。

法起寺



法起寺には、近鉄郡山駅からバスに乗っていったと記憶している。

Google Map では、法起寺前のバス停が法起寺の北西にある。このバス停
県道奈良大和郡山斑鳩にあり、法起寺の裏になる。記憶とアルバムの並
びから、バスを降りて、上のような写真を撮りながら田舎道を歩いて行
った。



左の写真は池の反対側から撮ったもので、右は近くで見上げたもので
ある。大寺の五重塔と比べればこじんまりとした気がする。これが、風
景とマッチしているのではないかと思える。もう少し見ると、最上層の
傾斜がややきつく、次層との比が少し小さい気がする。



上の写真は境内の西側を撮ったものと思われるが、定かではない。

この後、法隆寺に向かった。この2寺は1Km程の距離にあり、普通は法隆寺を先に訪れるであろう。

中宮寺（法隆寺東院伽藍）

次の4枚の写真は、中宮寺境内の築地塀である。タイム・スリップした感じがし、好きな風景の1つである。どの時代にタイム・スリップするのは微妙であるが、江戸時代以前であることは間違いない。



次は夢殿を撮ったものである。



法隆寺（西院伽藍）

東院伽藍との間に東大門がある。上の左は、門を入った直後、右はやや進んだところで撮ったものである。



前頁の下の写真は、左が中門の右分と回廊、右は五重塔を回廊の外から撮ったものである。



上の写真は、中門脇東側の回廊の外側から金堂を撮ったものと思われる。

次の写真の左は、回廊の南西の外側から撮ったもので、右側に中門左側に五重塔が写っている。

右の写真は、中門と南大門の間から中門を撮ったものである。人を避けた写真を撮ってきたが、ここは法隆寺を訪れる人の殆どが通る所であり、人を避けることはできなかった。



あとがき

これまでほぼ2つの寺社を1章で扱ってきたが、同じ日に撮影したのは、本章で取り挙げた、法起寺・法隆寺が初めてである。この2寺は近いのでどう巡っても大差ない。離れている場合は、交通の便の悪い方を先に訪れる方がよい。

法起寺へ行くのに、バスを降りて田んぼの中の道を歩いた記憶はおぼろげにある程度で移動に関しては覚えていない。バスを降りたことから、(大和)郡山まで近鉄で行って乗り換えた筈である。昼食も記憶にない。遅い朝食あるいは早めの昼食をとって出かけたのかもしれない。この後早めの夕食となる。

参拝者の多い広い寺社ではお茶席が設けられているところもある。お茶席は tea ceremony との訳もある。Ceremony 抜きて tea(抹茶)、すなわち普通にたてた抹茶をティー・カップで飲めないかと思ったことがある。